校訓	自分を育て　自分を生かし　社会を明るく	令和３年度学校だより 「天の子」 第3号	発行日	令和3年4月28日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～自ら学び、考え、行動する力と、豊かな心を育む～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長　前田 徳三

【ゴールデンウィーク中の感染拡大防止のご協力】

毎日の健康観察や各家庭における感染症予防対策にご協力いただいているところですが、４月５日からの「まん延防止等重点措置」の適用後も兵庫県内の新規感染者は増加の一途をたどり、４月２５日～５月１１日の期間、３回目の緊急事態宣言が発令されました。

これまで、子どもは大人に比べて感染しにくいとされてきましたが、若年層の感染者が急増しており、「断腸の思い」という慣用表現がありますが、修学旅行（６月１～３日）を２学期に延期します。

しかし、子どもたちの努力を無駄にしたくないという思いと同時に、この環境下でどのようにすればよいのかと私自身、昼夜、考える日々が続いていますが、絶対に子どもたちの学びを止めるわけにはいきません。教職員の知力を結集させるため、感染症対策委員会を随時開催して、できる限りの感染症対策を図りながら、授業や部活動、行事等の教育活動を行ってまいります。

もし、今後臨時休業になったとしてもオンライン授業を含め、子どもたちの教育・学びを止めないことが私たちの使命だと捉え、取り組んでまいります。

明日から、ゴールデンウィークが始まりますが、学校、家庭、地域が一体となり、このウイルスという大きな敵に打ち勝ちたいと思います。そして、子どもたちが楽しみにしている修学旅行や部活動、体育大会、学習発表会等の行事が行われ、みんなが「いろいろな苦労があったが、この一年本当によかった。素晴らしい一年だったね。」と言い合え、子どもたちの笑顔が見られることを願っています。チーム天中の知力が結集すれば、この困難は必ず乗り越えられると思います。

一方、最近は、家庭内での感染が５割を超えていることから、ゴールデンウィーク中の不要不急の外出・移動の自粛や、混雑をしている場所や時間を避けての行動等、改めて、家庭における感染防止にご協力いただきますようよろしくお願いたいします。詳しくは、「コロナに負けるな通信！　ＮＯ．２」にてお知らせいたします。

【偏差値は読書に比例】

ベネッセ教育総合研究所は、「読書」と「学力」の関係について調べた「小学生の読書に関する実態調査」を公表されました。それによると、読書量の多い子どもほど、「知識」や、考える力である「思考力」の能力が高いことが分かりま

した。また、勉強を得意としている子どもより、苦手にしている子どもの方が、読書量が多いと「知識」に効果があるようです。一方、「思考力」においては、読書量が多いほど効果が高まるものの、勉強を得意としている子どもと苦手としている子どもの差が「知識」の場合のような明らかな差がありませんでした。

さらに、同研究所は、「本に親しんでいる子どもは、単にたくさんの本を読むだけでなく、読み方を工夫したり、自分に役立つことを理解したりしている」や「偏差値は読書量に比例している可能性がある」と指摘していました。

本を読めば読むほど、「世の中には色々な人がいて、いろんな生き方や考え方がある」ことを知ることができます。「年を重ねるごとに落ち着きが出て芯が強くなった」と感じる人たちは、総じて読書家で勉強家が多いと思います。読書などを通して自分の中に確固とした人生指針や倫理観が確立されていくほどに、他人の目や評価に頼らない心の芯の強さが育っていきます。ステイホーム中である今、このゴールデンウィーク中に是非、たくさんの本を読んでください。

【若々しさ】

人は、誰でも人から信頼される人、尊敬される人になりたいと思っています。では、どのような人がそうなるかといえば、「どんな人に対しても誠実な態度で関わり、おもいやりのある人」「自己主張だけでなく相手の意見もしっかり聞き入れることができる人」「ミスをした時、言い訳せずに謝ることができる人」などがあると思います。人から尊敬され、人望の厚い人はいくつになっても若々しいものです。人から尊敬され、人望の厚い、慕われる人の若さの秘訣は、人に親切にした時に分泌される“快楽ホルモン”の作用であることが最近の調査で分かったようです。人を親切・大事にすることで“快楽ホルモン”が体内で分泌され、この快楽ホルモンは「オキシトシン」と呼ばれます。オキシトンは脳の視床下部で生成され、脳下垂体後葉という部分から分泌される情報伝達物資で、温かい感情をもたらしたり、ストレスを軽減させたりする作用を持っており、「幸せホルモン」とも呼ばれています。また、身体的にも心臓の働きを保護する、血管を強く柔らかくする、胃腸の働きをよくする、炎症を抑える、抗うつ等の作用が認められています。イギリスの生物科学者ディビット・R・ハミルトン博士が 2017 年に出版した『親切の５つの副作用』（邦題『親切は脳に効く』）という本には、人を幸せにすることでオキシトシンが分泌され、心身ともによい影響があると書かれています。みなさんもクラスや部活動で、友だちや後輩を親切・大事にして尊敬され、慕われ、頼りにされる存在になってください。

【訂正本校職員の紹介】

天の子２号の職員紹介において、以下のように訂正いたします。

	＜訂正前＞				＜訂正後＞		
第２学年	学年付	~~数学~~	種橋和憲	→	学年付	国語	種橋和憲
	学年付	~~家庭~~	志水洋文	→	学年付	数学	志水洋文
第３学年	~~特支担任~~	英語	勝木晃平	→	８組担任	英語	勝木晃平